

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されるこ
とを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	食道 ESD 入院期間短縮・早期食事再開の安全性と妥当性
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：北村陽子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>背景 食道 ESD の入院期間は 7 日前後としている施設が多く、慣習的に ESD POD1 は絶食・水分可とし、POD2 より食事開始としていることが多い。しかし、食道 ESD で後出血を合併することは非常に稀である。当院では、食道 ESD 後の偶発症が極めて低いため、2012 年 4 月から 2017 年 6 月までは 7 日入院パス(ESD 前日入院、ESD POD1 より流動、POD2 より 3 分、POD3 より 5 分、POD4 全粥で退院)であったが、2017 年 7 月からは 4 日入院パス(ESD 前日入院、ESD POD1 昼から 5 分、POD2 全粥で退院)に変更した。</p> <p>目的 当院における食道 ESD 症例で、7 日入院パスから 4 日入院パスへの短縮と早期経口摂取開始の安全性と妥当性を評価する。</p>
調査データの該当期間	2012 年 4 月から 2025 年 12 月
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	当院で内視鏡切除を行った食道症例の、内視鏡画像・病理組織画像や臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の 他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないようを行う。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L : 0742-24-1251 担当者：消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子
備 考	